



SIOS is Innovative Open Solutions

世界中の人々のために、不可能を可能に。

トップメッセージ

誰もがLinuxを趣味のツールだと思っていた時代に、
世界で主流となっていた商業主義OSを凌駕し、革新的なサービスをつくれると信じて
私たちはLinuxを推進するビジネスを始めました。
今では、世界でもっとも使われているOSになっています。

常識に囚われず、強い信念や愛情をもつこと。
勇気を持つこと。諦めないこと。情熱を注ぐこと。
それが私たちのDNAです。

サイオスグループは、創業から四半世紀。
その間、組織のサイズも世の中の環境や価値観も大きく変化しました。
世界では、DEI (Diversity, Equity & Inclusion) が叫ばれています。
異なる背景、信念、経験を持つ「多様な個性」が集まるだけでなく、
互いを認め尊重し、それぞれのもつ可能性を最大限発揮できる。
そんな環境こそが、イノベーションを生み、未来を切り拓くと信じています。

サイオスグループは、これからもテクノロジー、ソリューション力を通じて、
世界に新しい価値を創り出していきます。



代表取締役社長 喜多 伸夫

パーパス

サイオスミッションステートメント

当社設立の1997年当時、OSと言えばMicrosoft Windows、UNIX、メインフレームOSが主流であり、Linuxは趣味の世界のものと見られていました。ビジネスでLinuxを使うことは非常識、不可能であると考えられていたのです。そのような中、サイオスの前身であるテンアート二は、将来Linuxが趣味の世界にとどまらず、ビジネスの世界も席卷することを確信し、Linuxをあらゆる分野で推進するビジネスをスタートしました。

今日Linuxは、GoogleのAndroidスマートフォンにも使われ、世界で最も多く使われるOSとなりました。当社のLinuxを含めたオープンソースソフトウェア事業も大きく育ち、当社の礎となっています。

不可能を可能にする。これが当社のDNAです。20周年の節目にあたり、当社は「世界中の人々のために、不可能を可能に。」を新たなミッションと定め、イノベーションによって人々の課題を解決し、より良い社会の実現に貢献します。



サイオスが目指す「より良い社会」とは

サイオスグループが考えるより良い社会とは、
「創造性あふれる社会」「心豊かな社会」「持続可能な社会」です。
持てる力と提供する製品・サービスを通じてこれら社会の実現に貢献してまいります。



創造性あふれる社会

テクノロジーが持つ無限の可能性により、
人々をよりクリエイティブに。



心豊かな社会

楽しく学び、自分らしく働ける機会を。
不安や心配をなくして心と体に健康を。



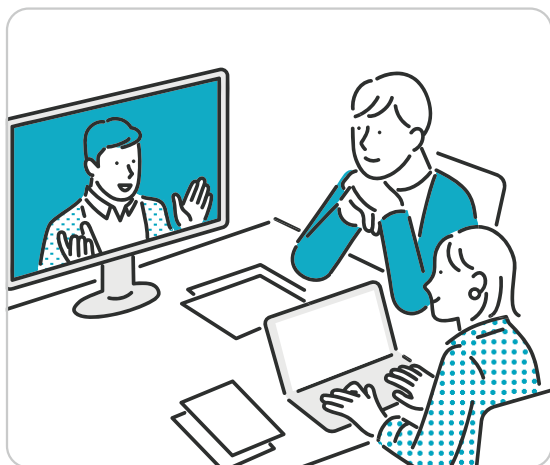
持続可能な社会

安全で安心できる暮らしを。
効率的で賢い資源の利用を。
生き活きとした地域社会の創生を。

サイオスグループDriving Force

サイオスグループがより良い社会を実現するための力の源泉は自らが保有する「テクノロジー」「ピープル」「カルチャー」です。

私たちはこれらを「ミッションを実現するための推進力 (Driving Force)」と定義しています。



テクノロジー

テクノロジーを基軸に
イノベーションの創出を推進。



ピープル

社会に変革を巻き起こす、
魅力あふれるチームを創出。



カルチャー

大勢に流されず、
人のやらないことに果敢に挑戦。

サイオスグループ「SIOS Values 2.0」

「SIOS Values」とは、サイオスグループの価値観を明文化したものです。2013年12月に策定し、その後、2019年5月に行動指針を具体化した「SIOS Values 2.0」として改めました。

「SIOS Values 2.0」は、「Creativity (創造)、Passion (情熱)、Commitment (コミットメント)、Integrity (誠実)、Teamwork (チームワーク)」の5つのキーワードから成り、各々に行動指針が明記されています。

そして、この「SIOS Values 2.0」は、世界中の人々にサイオスグループを理解していただくための最良の手がかりとなることを、私たちは信じています。



サイオスグループ

サイオス株式会社

Linuxに代表されるオープンソースソフトウェアを活用したシステムインテグレーションを原点とし、ソフトウェア製品およびSaaSを提供するテクノロジー企業群を子会社に持つ東京証券取引所スタンダード市場上場の持株会社です。

サイオステクノロジー株式会社

Linuxに代表されるオープンソースソフトウェアを活用したシステムインテグレーションを原点とし、自社開発ソフトウェアおよびSaaS製品の販売とサービスを行っています。直近では、クラウドをはじめDXの技術領域に注力し、次世代を支える新製品とサービスを提供しています。

SIOS Technology Corp. (USA)

米国カリフォルニア州サンマテオに本部を置くサイオスの子会社です。1999年に設立、米国・欧州を中心に事業展開を行っています。



製品・サービス

製品・サービス

オープンソースソフトウェアを軸に、アプリケーションやOS、クラウドを加えたITシステムの開発/基盤構築/運用サポート等の事業を展開しています。

保有する技術力に磨きをかけ、新たな領域にも果敢に挑戦を続けることで、イノベーションの創出を推進します。

SaaS (Software as a Service) ・クラウドサービス

OSS (Open Source Software)

ソフトウェア製品

コンサルティング&SI

SaaS (Software as a Service) ・クラウドサービス



Gluegentシリーズ

日々の仕事を安心快適にするクラウドサービス。
働く人がいつでも・どこでも力を最大限に発揮できる
環境づくりを支援

- Gluegent Flow
- Gluegent Apps
- Gluegent Gate



座席管理システム

システムの提供を通じて、ヒトやモノの価値を最大限に引き出す
ことを支援

- YourDesk



Med Techソリューション

IT革新による変革が進む医療分野において、これまで培った
技術やノウハウを生かし、社会に役立つサービスを提供

- INDIGO NOTE

OSS (Open Source Software)



オープンソースソフトウェア

オープンソースのシステム構築・運用支援で培った高い技術力と経験を生かし、企業ユーザーが必要とする、ミッションクリティカルな環境でのオープンソースの活用を強力に支援

- レッドハット製品
- EDB Postgres



テクニカルサポート・サービス

企業向けにオープンソースソフトウェアのサポートを実施し続けてきた中で培われた技術力とナレッジを提供し、お客様のビジネスを支援

- サイオスOSSよろず相談室
- Matomoサポートサービス

ソフトウェア製品



システム障害対策

ITシステムダウンによるビジネス停止をハイアベイラビリティテクノロジーで防ぐ安心を、簡単に

- LifeKeeper
- Single Server Protection
- LINBITクラスタスタック・サポート



文書管理アプリケーション

複合機と連携しペーパーレス、オフィスの業務効率化やスピードアップを実現

- Quickスキャン
- Speedoc
- Easyファクス
- スマートecoファクス

ソフトウェア製品



フィンテックソリューション

金融に携わる人々の課題を解決する革新的な製品とサービスを創造し、地域経済の活性化と、すべての人が安心して暮らせる社会の実現に貢献

- 経営支援ソリューション
- 統合与信ソリューション

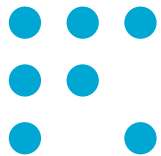


各社製品・サービス

お客様の要望に合わせて各社製品・サービスを提供

- デジタルアーツ製品

コンサルティング&SI



APIソリューション

APIを起点にした「オープンイノベーションによる事業開発」および「レガシーシステムのビジネス、システム刷新」を目指すお客様に対し、ビジネスモデルの検討からシステム設計構築、エコシステムの拡張に至るワンストップサポートサービスを提供

- APIエコシステムデザインソリューション



コンテナプラットフォーム

次世代インフラ技術であるコンテナを駆使したサービスとソリューションでDXを推進するお客様の「なんでも相談できる窓口」として課題を解決

- コンテナ技術者トレーニングサービス
- コンサルティングサービス

コンサルティング&SI



システムインテグレーションサービス

オープンソースソフトウェア、クラウド技術を熟知したエンジニアによる情報システムの設計・構築・運用支援と、企業に蓄積される情報・データを分析・活用するためのビッグデータ分析基盤の導入・運用支援を提供

- OSSインテグレーション
- クラウドインテグレーション
- ビッグデータ分析
- システムソリューション
- UX設計・UIデザイン



クラウド/認証ソリューション

いつでもどこにいても安全にシステムに接続して業務を遂行する、現代のナレッジワーカーに必要なクラウドと統合認証ソリューションを包括的に提供

- 統合認証システム導入サービス

サステナビリティ

サステナビリティに関する方針

当社グループは、「世界中の人々のために、不可能を可能に。」をミッションと定め、イノベーションによって人々の課題を解決し、より良い社会（創造性あふれる社会、心豊かな社会、持続可能な社会）の実現に貢献することを目指しています。このミッションを実現するために、環境・社会・経済に与える影響を配慮し、当社が定める方針に沿って事業活動を推進していきます。また、国際社会の共通目標として掲げられた「持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals: SDGs)」の達成に貢献していきます。

サステナビリティ推進体制

当社グループのサステナビリティ活動に係る方向性の議論や取り組み状況については、経営企画部門がとりまとめ、定期的に当社取締役会に報告を行うことにより、当社グループの持続的な成長に資するかどうかのモニタリングを実施しています。また、この活動が当社のサステナビリティに関する方針に適合しているか、グループおよび持続的な成長に資するかどうかについて、モニタリングを行っています。

サステナビリティに係る主な取り組み

当社グループは、自らの事業活動の環境や社会への影響、ステークホルダーの期待や社会要請に鑑み、中長期的に注力する「サステナビリティ重点課題」を設定し、取り組みを推進しています。現在は、「社会の課題を見据えたサービスの開発」「地球環境に配慮した活動」「ライフスタイルの多様化への配慮」を重点課題とし、各活動に取り組んでいます。



当社の定めるサステナビリティの方針

製品・サービス

当社グループが保有する技術力と提供する製品・サービスを通じて、より良い社会（以下の3つの社会）の実現に貢献します。

（サイオスグループが目指す社会）

創造性あふれる社会：人々がよりクリエイティブに活躍できる社会

心豊かな社会：人々の心と体に健康がもたらされる社会

持続可能な社会：安全で安心できる暮らし、効率的な資源の利用、地域社会の創生がはかれる社会

人権の尊重

企業活動によって影響を受けるすべての人々の人権を尊重します。

社員一人ひとりを尊重し、お互いを高めあいながら、チームとしてパフォーマンスを最大化させることを通じて、個人とチームの能力向上、成長を目指します。

コンプライアンス

「創造」「情熱」「コミットメント」「誠実」「チームワーク」の5つを全役員・従業員の行動規範となる「SIOS Values 2.0」と定め、役員・従業員の一人ひとりが法令の遵守はもちろんのこと、高い倫理観と使命感をもって業務を遂行します。

社会貢献

SIOS Sustainability Project (SSP) サービスラインを設け、事業の枠にとらわれない活動で、広く社会に貢献します。



S I O S
Sustainability

DEI (Diversity, Equity & Inclusion) 推進に関する方針

当社グループは、以下の方針に基づき、DEI推進の取り組みを進めています。

DEI Policy

サイオスグループは、人材の多様性を互いに尊重し、共に活躍することができる職場環境づくりを進め、社員一人ひとりが公平に機会と支援を得て能力を最大限に発揮し、自ら組織運営に参画することで、イノベーションと新しい価値創造の実現を目指します。

● Diversity

多様性のこと。性別、年齢、国籍、人種、民族、宗教、社会的地位、障がいの有無、性的指向、性自認、価値観、働き方等、個人や集団の間に存在しているさまざまな違い。

● Equity

公平性のこと。他の人と同じ物や機会を提供されても、何らかの理由でそれらが活用できない状況にある人に対し、その不利な状況を改善するために、追加の支援や配慮を行うこと。

● Inclusion

包括性のこと。すべての従業員が職場において信頼され、心理的にも安心感をもち、組織内の意思決定プロセスに十分に参加できること。



ガバナンス

コーポレート・ガバナンスの基本的な考え方

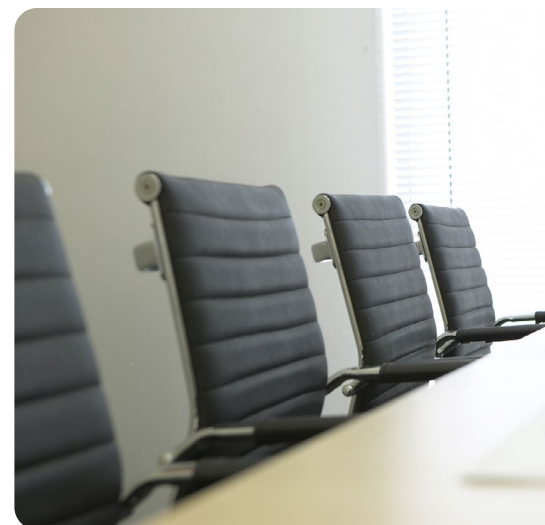
当社は、継続的な企業価値向上のため、コーポレート・ガバナンスを重要課題と認識し、透明性の高い健全なコーポレート・ガバナンス体制の整備および企業倫理の構築に向け、鋭意改善努力を行っています。

また、遵法に基づき、コンプライアンスの徹底、経営の透明性と公正性の向上および環境変化への機敏な対応と競争力の強化を目指しています。

現状のガバナンス体制を採用している理由

会社の価値を最大化するには、経営者が健全かつタイムリーでスピーディな意思決定を行い、それに基づき業務執行を行うことが基本です。また、それらを監督する機関が必要であり、そこにコーポレート・ガバナンスの必要性があると認識しています。

当社は、取締役の職務執行の監査等を担う監査等委員を取締役会の構成員とすることにより、取締役会の監督機能を高め、監査体制の強化を通じてより一層のコーポレート・ガバナンス体制の充実を図っています。あわせて、執行役員制を導入し、業務の監督機能と執行機能を分けています。監督機能の有効性を高めるために、社外において十分な経営経験と見識を有した社外取締役に客観的な立場から経営判断を行っていただくことが最善と考えています。また、監査等委員である取締役は3名中2名が社外取締役であり、公正性を高めています。



企業統治の体制

当社は監査等委員会設置会社を採用しています。取締役会は原則として毎月1回開催し、必要に応じて臨時取締役会を適宜開催しています。取締役会では重要事項はすべて付議され、業績の進捗についても報告を受け、対策等について討議しています。また、意思決定機関である取締役会とは別に審議機関として常勤取締役および執行役員等で構成する経営会議および執行役員会を月1回開催し、当社グループの状況や損益計画の進捗を確認するとともに、経営全般の重要事項の審議を行っています。

サイオスコンプライアンス

当社は、「創造」「情熱」「コミットメント」「誠実」「チームワーク」の5つを全役員・従業員の行動規範となる「SIOS Values 2.0」と定め、役員・従業員の一人ひとりが法令の遵守はもちろんのこと、高い倫理観と使命感をもって業務を遂行しています。さらに、コンプライアンス委員会を設置し、関連規程を制定する等、コンプライアンスの徹底を最重要課題の一つとして位置づけ、その強化、全役員・従業員への浸透に注力するとともに、公正で透明な事業運営の推進に努めています。

通報相談窓口

当社における「通報相談窓口」は、法令違反行為（横領・背任・窃盗・パワハラ・セクハラ等を含みます。）の早期発見、対処、発生防止等を目的として、サイオスグループの就労者（就労者には、取締役、執行役員、監査役、相談役、顧問、社員、契約社員、派遣社員、嘱託社員、受入出向者、アルバイト社員、業務委託常勤者等サイオスグループ内で業務を行う者すべてが含まれます。）が相談または通報できるもので、社内外に設置しています。



会社概要

会社名

サイオス株式会社
(英語表記: SIOS Corporation)

設立

1997年5月23日
(5月23日は、1995年 SunWorldで初めてJavaが発表された記念となる日です)

市場情報

東京証券取引所スタンダード市場 (証券コード3744)

所在地

〒106-0047
東京都港区南麻布2-12-3 サイオスビル

グループ会社

サイオステクノロジー株式会社
〒106-0047
東京都港区南麻布2-12-3 サイオスビル

SIOS Technology Corp.
4 West 4th Avenue,
San Mateo, CA 94402, U.S.A.

沿革

1997年	5月	株式会社テンアートニ設立
2002年	1月	ノーザンライツコンピュータ株式会社と合併
2004年	8月	東京証券取引所マザーズに上場
2006年	6月	SteelEye Technology, Inc. (現SIOS Technology Corp.) を買収
2006年	11月	社名をサイオステクノロジー株式会社に変更
2008年	2月	株式会社グルージェントを子会社化
2009年	12月	関西営業所を開設
2013年	7月	南麻布へ本社移転 中部営業所を開設
2014年	4月	九州営業所を開設
2015年	4月	株式会社キーポート・ソリューションズを子会社化
2015年	5月	東京証券取引所市場第二部へ市場変更
2015年	6月	BayPOS合併会社設立
2015年	10月	Profit Cube株式会社を子会社化
2017年	10月	サイオス株式会社を持株会社とする経営体制への移行に伴い、サイオステクノロジー株式会社を事業会社として分割
2018年	12月	サイオステクノロジー株式会社が株式会社サードウェアを吸収合併
2020年	10月	サイオステクノロジー株式会社が株式会社グルージェントおよび株式会社キーポート・ソリューションズを吸収合併
2021年	4月	サイオステクノロジー株式会社がProfit Cube株式会社を吸収合併
2022年	4月	東京証券取引所スタンダード市場へ移行



サイオス株式会社

〒106-0047 東京都港区南麻布2-12-3 サイオスビル
TEL:03-6401-5111 (代表)
<https://www.sios.com>

2024.03